

新年のご挨拶 “協創”について本格的に取り組み開始

足立区 生涯学習センター所長 平野 昌暁 氏



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。
おかげさまで、私共もこの4月より3期目の管理運営を任されることになりました。
このところ、世相の変化がかなり早くなっていると感じています。

この変化に合わせた事業運営、また施設運営をこれまで以上に求められていき
ます。「協創」についても、本格的に取り組みを始めてまいります。

これらを達成するためには、皆々様のご協力が不可欠であると考えています。
貴団体のより良きパートナーとして、尽力してまいります。

最後にあらためて皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、
ご挨拶とさせていただきます。

足立区生涯学習センター 所長 平野昌暁

各方面より頂いた年賀状

- ★ 顧問の先生方 :伊藤俊夫氏
- ★ 賛助会員 油井久仁子、平木トミ子、緑川智子 各氏
- ★ あだち区民大学塾講師 :大淵澄夫、岡部晃彦、櫛原文夫、
堀口茉純、大沢正明、荒昌二郎 各氏
- ★ 受託事業講師 :成田奈緒子氏 ★社会教育 いとう啓子氏
- ★ 生涯学習関連 :足立区生涯学習センター、足立区NPO活動支援センター



敬称略)

2019 年に向けて 会員の抱負

★ 一緒に学びながら関わっていければ

入会させていただき、ほぼ一年になりました。皆さまの毎月の会議では、真剣な中に時々笑を交えて
討議する姿にご苦労を感じ、また感心しながら参加させていただいております。

今年は講座を作り上げていく一員となり一緒に学びながら関わっていく機会を持てれば、と思っています。
1年間よろしくお願ひ致します。 ボランティア活動推進部 小田野 幸子)

★ 「楽学の会」で「楽しく学ぶ」

年齢と共に友人との会話も健康の話題が多くなりました。元気のもと、心の健康のために経験を活かし、
何にでも「楽しむ」の気持ちで、何事も「楽しく」関わって、何時も「楽に」ゆっくり行動する。
そして「楽学の会」で「楽しく学ぶ」そんな1年になれたらと考えています。

ボランティア活動推進部 田中桂子)

2019年に向けて 会員の抱負 (続き)

★「加齢」と「老化」

最近「加齢」という言葉をよく耳にする。加齢とは、ヒトが生まれてから死ぬまでの暦年齢のことであり、誰もが同じ速さで進行していく。一方、老化は加齢にともなう生理機能の低下であり、機能低下の速さはすべてのヒトが同じではなく、個人個人バラバラである。

そこで、2019年の抱負は、「一日一万歩」の励行で、老化の進行を少しでも緩めることである。

(ボランティア活動推進部 齋藤龍男)

★新しい年に思うこと

年々、世の中慌ただしく過ぎゆく時間の中で、じっくりと物事を見定めて歩みを進めたい。また、「楽学の会」のますますの発展を願うと共に、健康第一に過ごし、明るく楽しく活動に参加したい。

(学習支援部 今野君江)

★新年に向けて

去年の受託講座で、60代以上の受講者は現在の中学・高校で受ける科学の進歩恩恵を受けていないと強く感じた。大学塾で、「数式のいらぬ大人の物理学」「地球の歴史から見る生物の進化」(仮案)などを企画して頂けると有り難いです。

(学習支援部 安田善英)

★2019年の抱負 『夢を語る』

自分が歳をとって少なくなったのが『大笑いと夢』だと思います。夢といっても寝ているときの夢だけでなく、夢のようなという時の『夢』も減りました。現実的な話ばかりでなく、簡単には達成できそうもない目標にも目を向けたいと思います。例えば「新しい仕組みのボランティアとはどんな姿なのか」なんてね。引っくり返らない程度に上を向いて『夢』を語り『大笑い』したいと思います。

(広報部 神戸 明)

当会顧問の情報：崎山みゆき氏寄稿

読売新聞シリーズ「みんなの未来へ」生涯現役社会

当会顧問で日本産業ジェロントロジー協会の崎山みゆき代表が1月14日付の読売新聞 社会保障面(16・17頁)で安心の設計 “変わるシニア像 体力 気力 充実) 60 過ぎて働け カッコいい ばあば” に掲載の意見や寄稿文に対して下記の記事が掲載されています。

(枠内記事紹介：シニアが働き続け、支える側に居る期間が延びれば医療や介護などの社会制度は安定する。シニア人材の活用に詳しい日本産業ジェロントロジー協会の崎山みゆき代表理事は「高齢者の雇用は今後も進むだろう。企業側は一層高齢者向けの仕事の用意や、体力が低下しても働きやすい職場の環境の整備などが求められるようになる」と指摘する。



(広報部)

新会員紹介 石田佳久様

皆様お世話になります



長期に亘り活動より遠退いていたため、改めて仕切りなおしの気持ちで参加して行きます。こんな出戻りの再出発を暖かく見守って頂ければと思います。

(履歴：H17年入会、ボランティア活動推進部、広報部などでご活躍。創立10周年記念事業ほかセンターの運営ボラ、学習関連団体との交流会、講座・講演会の運営スタッフなどにも数多く参加。H27年退会。H30年末に再入会されました)

平成30年度 第4ステージ大学塾開催案内

元NHKアナが語る 深くて面白い“日本語”の話

講師：岡部 晃彦氏 (一財)NHK放送研修センター・日本語センター専門委員

日時：3月7日、14日、21日 毎回 木曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室1

講義内容：第1回 正しく美しい日本語って何だろう？

～放送の現場で迷う言葉あれこれ～

第2回 「やまとことば」をもっと見直そう

～古代から今も連なる日本語の深さと危うさ～

第3回 身近な日本語、何でそう言うの？

～考えたこともない普段の言葉の由来を考える～



平成31年1月 新年会報告



1月16日午後6時よりレストラン「さくら」にて平成31年の新年会が開催されました。足立区地域文化課の濱田課長、生涯学習センターの平野所長、鳥塚副所長、顧問の崎山様にお越しいただき、総勢23名の参加者で行いました。

最初に福田代表理事より昨年NPO法人設立15周年記念事業を行い、記念誌を発行しました。今年から20周年に向けて一層発展させていきたい。30年度は区との協創事業として足立区関連講座を4講座開催しました。来年度も区とタイアップして行っていきます。また、生涯学習センターからの受託事業は心と体の健康シリーズで行っていましたが、好評なので継続していく予定です。昨年漢字は「災」でしたが、今年は「災い転じて福となす」の年にしたいとの挨拶がありました。

濱田課長からは、新年は新しい気持ちになり、良い事を願う日本人の文化は素晴らしい。今年が平成のシメの年で、新元号のハジメの年です。十干十二支では「己亥」でシメの年で、草木が咲きほこり種になり、エネルギーを蓄え成長のハジメの時期でもあります。また、「土剋水」と言い、「土(己)は水(亥)の流れを制御し堰き止める」という意味もあります。年のハジメや干支から教訓として学ぶものが沢山あります。昨年記念事業があり節目を迎えました。今年新しいハジメの年となります。毎日が充実し、輝かしい一年になるようにとの励ましを頂きました。

平野所長からは来年度から新たに5年間、生涯学習センターの指定管理者となったので今後も引き続きよろしく願いますとのご挨拶の後、乾杯の音頭を取って頂きました。

しばし皆さんで飲みながら食べながら歓談し、中ごろ崎山顧問より皆さんが頑張っている「楽学の会」のことを自分の周りに大いに宣伝していきたい、と熱い想いのご支援の挨拶を頂きました。

美味しいお料理にお酒も進み、賑やかに有意義な懇親の場になってカラオケが始まり、みなさん得意な歌を披露してくださいました。濱田課長の素晴らしい歌に酔いしれ、会員のハモニカ演奏あり、踊りつきの女声合唱団ありで和やかな2時間が過ぎました。最後に江川常務理事の三本締めでお開きといたしました。

ご参加頂いたみなさまありがとうございました。

今年も頑張りましょう！

(ボランティア活動推進部)



みんなの広場

ダナキル砂漠と北エチオピア (その2)

村で行われていたエチオピア正教のティムカット祭りを見学後、エルタアレ火山のベースキャンプに向かう。舗装道路から離れ、道なき砂漠を約3時間走り、噴煙を上げる火山の麓にやっと到着。

暑さを避けるため、日が落ちてからガイド2人・警察官2人を加え、ラクダ2頭に荷物を載せて出発。月明かりの中、砂地・溶岩大地を懐中電灯を頼りに歩くこと4時間(12km・高低差410m)、山頂到着。真っ暗な中、赤い溶岩がうねり、飛散の様は圧巻で、



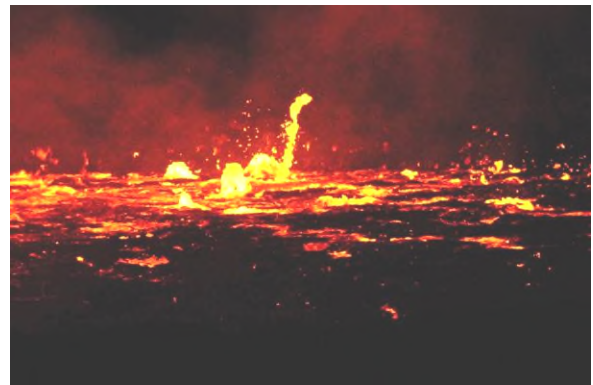
まさに「地球は生きている」のを実感した。日本では立入り禁止となるであろう火口そばまで10分ほど下り、そこで1時間ほど飽きもせず眺めていたが、近くまでマグマが飛んできたり、風向きによっては噴煙が流れてきたりと少し危険な時もあった。ガイド言わく、今日は火山活動が活発！！ 山頂に戻り野天泊。

翌朝5時、再び火口見学、何度見ても見あきない絶景です！！日の出(7時)を見てから暑くなる前に下山。早めの昼食をとり後ろ髪をひかれる思いでエルタアレを後にしたが、舗装道路そばの集合場所に1台の車が来なかった。砂漠では、ほこりを避けるため全車バラバラに走行していたので、砂にはま



ったことに気がつかず、探しに行くというトラブルが発生した。やっと合流できたと思ったら今度はパンク！ ホテルに20時到着、大変な1日でした。

ところでこの3日間の食事は、専任のシェフが水・食料を積んだ車で同行し、我々・運転手・ガイド・軍人(後半は警察官)の1日3食の食事をすべて1人で用意してくれた。(観光している間に先行し、準備)



盛装の少女たち

次号へ、その3と続きます。お楽しみください。
(記事・写真 江川武男)

1月 運営委員会報告（1月7日）

1. 代表挨拶：報告および提案

- ・新年あけましておめでとうございます。
楽学の会は発足以来24年目に入り、NPO法人設立以来 昨年15周年を迎えました。次の20周年にむけ会員が協力して、事業の発展に向け進めていきたいと思っております。
- ・さて昨年平成30年、2018年を振り返りますと、自然災害の多い年でした。2月は首都圏でも大雪、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、大型台風の上陸、7月からの猛暑、熱帯夜が続き、熊谷では41.1° Cの日本新記録を更新しました。
- ・世界では米朝首脳会談が始めて開催されましたが米中貿易戦争など世界は依然として不安定な状況が続いています。明るい話題としては
- ・2月平昌オリンピックでは羽生結弦選手が男子フィギュアスケートで連続金メダルをとりメダル数は13個で過去最多でした。またサッカーワールドカップでは決勝トーナメントへ進出し盛り上がりました。アメリカメジャーリーグでは大谷翔平が投打に大活躍、大阪なおみ選手がテニス全米オープンで優勝しました。
- ・ノーベル賞 医学生理学賞を本庶 佑氏が受賞されました。免疫がガン細胞を攻撃する「がん免疫療法」の道を開きました。がん治療の今後に期待したいと思っております。
- ・天皇陛下の生前退位が決定し31年5月1日より新元号となります。
- ・さて楽学の会の30年を振り返り 今年の抱負を述べます。

① NPO法人設立15周年事業を実施

15周年記念事業は記念誌の発行し、10月20日には報告会・祝賀会を開催しました。足立区、生涯学習センター、当会の顧問、大学塾講師の来賓をお招きし、会員含め39名が出席され15周年を祝い、交流、懇親を深めました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

② あだち区民大学塾事業

- ・区民ニーズを反映した講座を企画・提供し、30年度は16講座を提供予定です。
 - ・特に30年度は足立区関連講座を開催しています。歌川広重と足立講座、千住の銭湯講座、足立の環境講座を開催しました。また2月には足立の五色桜講座を開催します。31年度も区民の皆様へ足立区を知って頂く足立区関連講座を充実していきたいと思っております。生涯学習ボランティア養成講座を7月に6年ぶりに開催しました。今年も継続開催していきたいと思っております。大学塾講座は現在31年度講座を検討中です。今後も会員のネットワークを活かして新規分野の講座を開拓していきましょう。

③ 生涯学習センターよりの受託事業

29年より開催している「心と体の健康講座」シリーズとして30年度は2講座開催します。「病は気からの脳科学」講座を10月開催、「超高齢社会とフレイル」講座を31年2月～3月開催します。

④ 生涯学習関連団体との連携、交流は30年は活動は不十分でしたが今後拡大していきたいと思っております。

⑤ 今年度は坂本さんが入会され、石田さんが再入会されました。協力して活動していきましょう。

今年度は平成最後の年で、5月には新元号になります。昨年の世相を表す漢字1文字は「災（わざわい）」でしたが今年度は「災転じて福となす」となるよう祈ります。

本年が皆様にとって素晴らしい年になるよう祈念いたします。

2. 議事

(1) 情報交換

- ・年賀状 回覧
- ・足立朝日 新年挨拶に掲載

(2) 月例会開催について

- ・新年会のご案内。日時：1月16日(水) 午後6時～ 場所：「さくら」

センターに至急連絡の事。会として補助をする

3月月例会 3月18日(月) 足立区 協働・協創推進担当課長 坂田光穂氏の講演予定

(3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

- ・「薬膳」 応募者 10名 2/7、14
- ・「五色桜」 応募者 7名 2/22、3/8、15

(4) 受託事業について

- ・「超高齢社会とフレイル～栄養と運動による予防」 7日現在の応募者 15名
2/12、19、3/5、12 各火曜日 14：00～15：30 研4
講師 十文字学園大学教授 長澤伸江氏

(5) 各部局・PTからの報告および提案(省略)

◎ 講座名：奇想の系譜展 「江戸絵画ミラクルワールド」NHK講演会

日 時：3月10日（日）午後2時～3時30分
 対 象：16歳以上の方
 会 場：足立区生涯学習センター 4階 講 堂
 受講料：無 料 定 員：200名（事前申込先着順）
 講 師：中原淳行氏（東京都美術館事業係長学芸員）
 内 容：2月9日（土）より上野公園の東京都美術館で開催される「奇想の系譜展 江戸絵画ミラクルワールド」のNHK主催展覧会関連文化講演会です。同展では岩佐又兵衛、狩野山雪、伊藤若冲、曾我蕭白、長沢芦雪、歌川国芳、白隠慧鶴、鈴木其一の豊かな想像力、奇想天外な発想に満ちた江戸絵画を紹介しています。本講座ではその見どころを東京都美術館学芸員が解説。講座参加者1名につき、同展の招待券を1枚プレゼントします。

◎ 講座名：学びピアコンサート PP&M（ピーター・ポール&マリー） 懐かしアメリカンフォーク

日 時：3月2日（土）午後2時～3時30分
 対 象：16歳以上の方
 会 場：足立区生涯学習センター 4階 講 堂
 受講料：1,000円（一律）
 定 員：198名（事前申込先着順）
 出 演：ハート・ストリーム
 内 容：PP&Mの音楽の素晴らしさを伝え続けているハート・ストリーム。コンサートでは「虹とともに消えた恋」、「レモンツリー」、「パフ」などのPP&Mの代表曲から、懐かしのフォークソングの名曲まで演奏します。昔を懐かしみ会場と一緒に口ずさんでみませんか。PP&Mをご存じでない方もこの機会にぜひどうぞ。招待券でお申込みの方は、その旨、お申込み時にお伝えください。

申し込みは、生涯学習センターへ
 電話（03-5813-3730）または直接窓口へ

2019年3月月例会」のご案内

3月の月例会は次の通りです。

- ◎日 時：3月18日（月）午後3時半～5時
- ◎場 所：生涯学習センター 5階 研修室4
- ◎テーマ：学習支援ボランティアと考える
協働&協創とは
- ◎講 師：足立区政策経営部 協働・協創推進担当
課長 坂田光穂 氏
皆様の積極的な参加をお待ちしています。
(ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会
2月 4日（月）午後3時～5時 研修室4
- ◎ 月例会
休 会
- ◎ 学習支援部
2月 8日（金）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
2月 8日（金）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報部
2月 5日（火）メール会議
2月21日（水）午後2時～4時 ワークルーム
2月25日（月）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
2月 5日（火）午後2時～4時 ワークルーム
2月12日（火）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 大学塾講座検討会議
2月15日（金）午後2時～3時半 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
2月 4日（月）午後1時半～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
2月18日（月）

★お問い合わせ&ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ
<http://gakugaku.main.jp/>
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：kambe.akira2@gmail.com

編集後記

2019年は、昨年新たに入会された女性陣の活力を生かした活躍を大いに期待したいと思います。
 男女共同参画社会基本法がスタートしてから今年で20年となります。21世紀の男女共同参画社会の実現に向けての展望を見据えながら、当会の事業にもより深く繁栄させていければと思います。

(広報部)



(写真：西新井大師 2019)